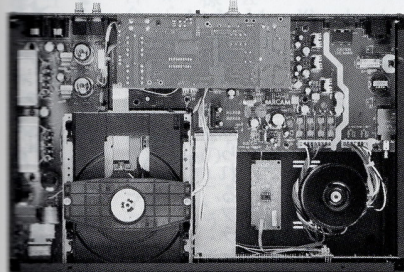


●アナログ出力:アンバランス1系統(RCA)、バランス1系統(XLR)
 ●デジタル出力:光1系統(TOS) ●デジタル入力:同軸1系統(RCA)、光1系統(TOS)、USB 1系統(Bタイプ・~96kHz)
 ●寸法/重量:W435×H95×D320mm / 8kg ●備考:写真・価格はクローム仕上げ、他にブラック仕上げ(¥798,000)あり。バランス出力HOT=2番ピン ●問合せ先:ヨシノトレーディング株式会社 050(3375)3975

EAR
Acute III
 ¥880,000



ドライブメカ近傍にチャンネルあたり1本の真空管(PCC88)を用いた出力段を配置。左端にはオリジナル設計のトランスが見える。

彫琢に優れたダイレクトサウンド。色彩感が豊かで色気がある
 USB入力を搭載するEARのCDプレーヤー。管球式出力段を搭載

和田博巳

多くの魅力溢れる真空管アンプを送り出すEARから、ついにデジタルオーディオ製品が登場した。アキユートIIIはアナログ・マイスター、ティム・デ・パラビチーニが手掛けたCDプレーヤーである。

ディスクドライブで読み取ったデジタル信号は、すべて、パラビチーニがデザインしたアナログフィルターを経由して、トランスをカップリングした真空管(PCC88×2)式ライオン出力段へ送られる。真空管の特性にマッチするように仕立てられたトランスは、パラビチーニ自身が、納得いく音が得られるまで、幾度とな

く手巻きで試行を繰り返したオリジナルシェアルメイトのこと。アナログ出力はアンバランス/バランスの両方を備え、さらに本機はフロントパネルにボリウムを装備して、ダイレクトにパワーアンプに接続して使用することが可能だ。デジタル入力には3系統で光と同軸の他に、USB(96kHz/24ビット)も備える。

最初はリアアンプとアンバランス接続して(アキユートIII側のボリウムは最大)、神尾真由子のヴァイオリンを聴くと、本来の鮮やかなイメージに肉付きのよさが加わって、実体感、ボディ感がいっそう増す。コンボジャズのアンプローズ・アキナムシール『うちなる閃光』も、リファレンスシステムで聴いた時よりもいっそう熱い演奏となる。次に、バランス接続とすると、わずかに大人しく、かつスッキリとした印象となったが、このへんは好みの範疇か。

ここでリアアンプをパスして、パワーアンプとアンバランス接続して聴くと、神尾真由子のヴァイオリンはいっそう鮮烈となり、いわゆる真空管のイメージを覆す。アンプローズ・アキナムシールも何となくか活力倍増のエネルギーな音ではなく、彫琢に優れたダイレクト感のある音だ。ヒラリー・コールのヴォーカルは、色彩感が豊かで、はらりとお色気がこぼれる。